



つなかり



南予地区愛護班活動研究集会「青少年健全育成の集い」

～地域の教育で未来を変える～

11月25日(土)に愛南町御荘文化センターで、南予地区愛護班活動研究集会「青少年健全育成の集い」が開催されました。

情報提供

県社会教育課から①愛護班の経緯と変遷、②青少年教育の現状と課題という二つの観点からの情報提供がありました。内閣府が実施した調査結果から、「子供や若者の不安や苦勞が顕在化している」や、「子供・若者にとって、地域がほっとする居心地の良い場所となっている」という説明がありました。地域に根差している愛護班は、子供たちの居場所作りの役割を担っていることを再認識しました。

講演

【演題】「子どもたちの水難事故を無くすために」

【講師】有限会社クロスポイント 代表取締役 久保 一平 氏

水難事故がどのようにして起こっているのか、また、起こった時にどのように行動すればよいのか等を、写真やイラストを交えながら具体的に教わりました。自分たち大人が自然を怖がるのではなく、正しい知識と実力を持ち、子供たちと活動することが大切だということを痛感しました。



事例提供

【題名】「子どもたちに水の怖さを」

【事例提供者】愛南町中田工夢店 社長 中田 非斗志 氏

会場町である愛南町が長年にわたって行っている自然体験活動について発表しました。自然の良さを感じる子供に育ててほしいという発表者の思いをくみ取り、自らの地域でも参考にしていきたいという参加者からの声が多く聞かれました。



情報交換

6グループに分かれ、「子供たちの自然体験活動をどのように進めるか」のテーマに沿って情報交換をしました。大人の知識・経験不足や自然体験活動への温度差、スタッフの高齢化等が問題点として上がり、青少年の健全育成に関わる様々な立場の関係者による活発な情報交換が行われました。



(参加者アンケートより一部抜粋)

- ・ 子どもたちに自然のすばらしさを伝え、自分の命を自分で守れる子どもを育てていきたいと思えます。
- ・ 子どもの命を守る方法に妥協は許されないということが心に残りました。